



外国人技能実習生と企業の未来を応援します

KTCC NEWS

4号
2020年4月

活動紹介 「防災講習」

災害の多い日本で暮らす上で欠かせないのが防災知識です。実習生は組合での一ヶ月講習中に、大阪市立阿倍野防災センターを訪れて学びます。この日、ベトナムからの実習生十一名のクラスに同行し、様子を取材しました。

●ハザードマップの確認

防災センター案内の方の日本語での説明はとても難しかったと思いますが、自分が住む地域が地図上のどこにあるのか、しっかりと日本語で質問をしていました。

●初期消火の手順

実際に消火器(模型)を使って操作手順や使用可能時間を確認しました。いざという時に使えるよう、普段から意識しておくことが大切です。

●震度7体験

起震装置に実際に乗り込み、地震の怖さを学びました。ベトナムでは地震がほとんど起こらないので、地震の揺れを知る初めての体験となりました。



ちらっとのぞき見 「女子会」

配属先企業の寮での楽しそうな「女子会」の写真が送られてきました。ベトナムからやってきた彼女たちは、日本でテト(旧正月)を迎えました。ベトナムでは家族と一緒に過ごしてきましたが、日本では仲間と一緒に祝います。食事は手作りのベトナム料理。近くのスーパーで手に入らない食材はインターネットで購入し、みんなで協力してたくさん料理ができました。揚げ春巻き、茹で鶏、豚耳のサラダ・・・そしてテトには欠かせないバインチュン(※)。



※バインチュン
餅米・豆・豚肉をゾン葉という葉っぱで包んで茹でたもの。お供えすることにより先祖に対する気持ちを表す特別な料理です。



完成した料理をお皿に盛り付けし、フルーツや飲み物もきれいに並べ、いよいよパーティが始まりました。美味しい料理、尽きないおしゃべり、ダンスに歌。その様子を写真や動画に撮り、ベトナムの家族に送ることも忘れません。こうやって仲間と楽しく過ごしている姿を見ることができ、ベトナムのご家族も安心されたことでしょう。会社の方にもベトナム料理を振舞うこともあり、料理には自信があるようです。これからやってくる日本の様々なイベントも、みんなで楽しんでください!



ベストショット



「視線のその先には・・・」

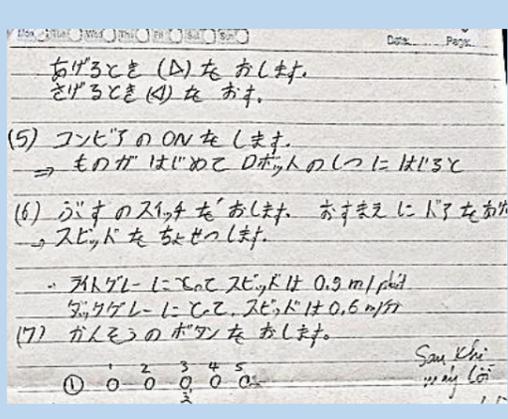
防災講習の道中、実習生がある一点をじっと見つめています。視線のその先にあるのは、大阪阿倍野のシンボルあべのハルカス。真横を通っていくため、実習生たちは必ず見上げます。気を取られて列を乱す実習生たち。はぐれないよう引率するのに苦労しますが、この後、あべのハルカス十六階庭園にて、束の間のひと時を楽しみました。

受け入れ企業訪問記 「京都市N社」

組合ホームページ中の「受け入れ企業の声」の取材で訪問しました。N社に到着すると、実習生たちは作業の手を止め、深々とお辞儀をしながら大きな声で「こんにちは」と出迎えてくれました。

実習生の主な作業は塗装で、機械操作も行います。操作マニュアルは実習生自身がベトナム語でなく日本語で書いたもの。内容に間違いがないか日本人が確認するの、操作ミスを防ぐことができるように、実習生の日本語力向上にもつながります。

インタビュー(ホームページ掲載)では色々な話をお聞きすることができました。あえてプライベートルームには干渉し過ぎず、しかし実習生のためになることであれば、時には優しく時には厳しく接することも。実習生と日本人とが程よい距離感を保ち、良好な関係を築かれていることが印象的なN社でした。



トラブル事例 曖昧な日本語

同僚を手伝ってあげたい実習生が「手伝っても良いですか」と日本人に質問しました。「いい」と返事を聞いて手伝うことになりましたが、この時の「いい」は「要らない」という意味でした。別の日に同じ事があり、日本人に「いい」と言われたので手伝いませんでした。しかしこの時は「要る」という意味だったようで、その場で注意されました。

日本語の微妙な言い回しについては、日本人でも間違える場合があります。特に「YES」「NO」どちらにもとれるような場合には、実習生からも再度確認するよう指導しました。加えて企業様に対しても、曖昧な表現を避け、分かりやすい言葉で伝えて頂くようお願いしました。

コラム

素敵なプレゼント

文：組合サポートスタッフ
3月8日は国際女性デー。日本ではあまり馴染みがありませんが、ベトナムでは男性から身近な女性にプレゼントしたり、家事を代わりに行って労をねぎらったりする習慣があります。
K社の男性実習生3人は、日頃の感謝の気持ちを込めて会社の女性社員にバラの花をプレゼントしました。とても感動されたと言います。私も嬉しくなりました。
自国の習慣を実習生が会社の人に伝えるということは、お互いを知る上で大切なこと。彼らにその意識はなく自然な行動だったのかもしれないですが、女性社員にとってはベトナム人の素敵な一面を見ることができた、特別な日となったのではないのでしょうか。

～ 世界の人々に日本を好きになってもらう ～

協同組合関西技術協力センターは、2002年に設立された外国人技能実習制度における監理団体です。日本語教育、人間力向上教育、各種サポートは、受け入れ企業様にも好評を頂いております。「外国人技能実習制度を通し日本企業と諸外国の架け橋になりたい」「日本での経験により成長した若者を世界中に増やしたい」そのような想いで日々活動しております。「何の知識もないけど・・・」「実習生を見たい」等々、お気軽にお問い合わせください。



Kansai Technical Cooperation Center
協同組合関西技術協力センター 広報課



本部外観

発行・お問い合わせ

KTCC 〒561-0832 大阪府豊中市庄内西町1丁目3番15号
TEL:06-6333-2373 (平日9時~18時) <http://www.kansai-gijyutsu.org/>